

津島市

Tsushima City Assembly

議会だより

No.65



表紙写真：津島駅東側駅前ロータリー

第2回臨時会・第2回定例会議決結果・議案に対する賛否

各議員の一般質問

各委員会報告

行政視察受入

令和8年8月1日発行

第2回臨時会 議決結果

会期：5月12日から5月13日まで

第2回臨時会では、正副議長をはじめ、常任委員会などの委員が選任されました。
また、専決2件、人事案件1件を承認、同意しました。

各議員の賛否の結果は、以下のとおりです。

議案番号	議 案	議決結果	新市民クラブ										市民・維新・政治参加クラブ		公明党 つしま		無会派		
			西山良夫	加藤哲司	垣見啓之	服部哲也	伊藤久夫	浅井英昭	中川喜文	安井英和	清水基史	宇藤久子	浦上文顕	野口航希	森口達也	那須幸子	太田幸江	井桁亮	長屋大和
専決 2	専決処分の承認（津島市市税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
専決 3	専決処分の承認（津島市国民健康保険税賦課徴収条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
29	津島市監査委員の選任	同意	○	○	除 斥	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○

除斥：一身上に関する事件については、該当議員は審議に参加できません。
※ 議長は、採決に加わっていません。 ○：賛成 ×：反対



第2回臨時会で選任された、正副議長と委員会の構成をご紹介します。

議長

宇藤 久子

副議長

服部 哲也

監査委員

垣見 啓之

厚生文教委員会			
◎浦上 文顕	○太田 幸江	宇藤 久子	
森口 達也	垣見 啓之	服部 哲也	
浅井 英昭	中川 喜文		

総務建設委員会			
◎野口 航希	○那須 幸子	西山 良夫	
加藤 哲司	伊藤 久夫	井桁 亮	
長屋 大和	安井 英和	清水 基史	

◎委員長 ○副委員長

第2回定例会 議決結果

会期：6月1日から6月24日まで

第2回定例会では、議案9件、人事案件1件を可決、同意しました。

各議員の賛否の結果は、以下のとおりです。

議案番号	議案	議決結果	新市民クラブ										市民・維新・政治参加クラブ		公明党 つしま		無会派		
			西山良夫	加藤哲司	垣見啓之	服部哲也	伊藤久夫	浅井英昭	中川喜文	安井英和	清水基史	宇藤久子	浦上文顕	野口航希	森口達也	那須幸子	太田幸江	井桁亮	長屋大和
30	市長等の給与の特例に関する条例及び市長等の退職手当の特例に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○
31	津島市介護保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○
32	津島市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
33	津島市上水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
34	令和8年度津島市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○
35	令和8年度津島市コミュニティ・プラント事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○
36	財産の買入れ	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○
37	財産の買入れ	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○
38	津島市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○
39	津島市農業委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○

※ 議長は、採決に加わっていません。 ○：賛成 ×：反対

・・・このような理由で、**賛成・反対**しました・・・

※ 議決結果については、2・3ページを参照してください。

議案第34号 一般会計補正予算
(第1号)

反 対

太田幸江

給食費無料化事業・おでかけタクシー事業・生活保護追加給付事業などには賛成する。

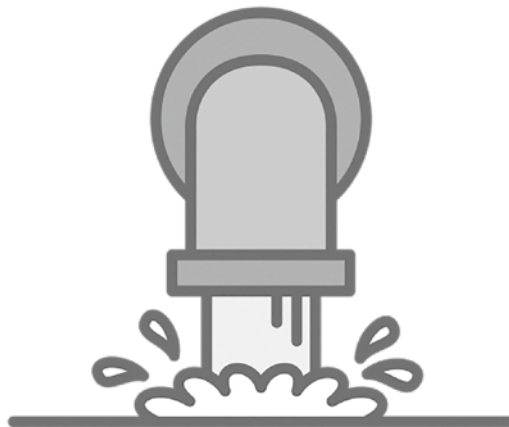
しかし、まちづくり予算が膨らんでいる。まちづくりよりも物価高に苦しむ市民の暮らしを支援する予算を最優先すべきである。



賛 成

公明党つしま 森口達也

排水路費の雨水管理総合計画策定委託料であるが、国庫補助金である社会資本整備総合交付金を財源の一部として、活用しての計画策定の委託業務であり、今後の冠水・浸水問題の解消へと繋がっていくことを期待する。



政務活動費の収支報告書をホームページに公開

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に交付されているお金のことです。本市議会では、議員1人当たり月1万2,500円と条例で金額が定められています。政務活動費の交付を受けた会派は、毎年度収支報告書を作成することになっています。

政務活動費が何に使われているか、市民の皆さまに分かりやすくお伝えするため、昨年からの収支報告書を領収書の写しなどを含め本市議会のホームページで公開しています。



●●● よりよい市政を目指し、市に対して議員が質問しました ●●●



新市民クラブ
清水 基史

市民の皆さまからいただいた声について

Q 今回補正予算で浸水対策品購入補助事業費が計上されているが、ソフト面の雨水対策に関する概要は。

A 総合政策部長

止水板、防水シートの購入費補助については、自宅などへの浸水被害を軽減するため、止水板、防水シートの購入費の一部を補助する制度を創設する。雨水管理総合計画による排水路の整備や下水道による浸水対策など中長期的なハード対

策と併せて、市民の命と暮らしを守るため直ちに取り組む。

Q 所有者のいない猫の取扱いについて、地域猫活動団体を設立せず、町内会の同意や猫の管理など一定の条件をクリアできる場合は個人の方が町内会に申し出て、町内要望として申請できるようにできないか。

A 市民生活部長

市では、地域猫活動団体に対して補助を行っているが、団体の活動や補助金の活用状況などの推移を見ながら、現行の所有者のいない猫への対策の促進を図るため、別の手法等も検討する。

Q 来年迎える市制施行80周年イベントの開催は検討しているか。

A まちづくり推進部長

市制施行80周年イベントの開催を検討している。

Q 市制施行80周年イベントの目的は。

A まちづくり推進部長

80周年という大きな節目を市民と祝うとともに、市に関わる全ての人が、先人たちが積み重ねてきた歴史を見詰め直すことにより、まちへの誇りや愛着を深めるとともに、改めて本市の魅力を確認し、未来を見据えたまちづくりを考える契機とする。



公明党つしま
森口 達也

下水道事業に関する件

Q 令和7年3月議会で管理する下水道管のうち、直径50cm以上の管路約6kmについて道路の空洞調査を実施して、調査会社によるデータ解析中の状況。また、直径2mの管路約2kmについては路面の巡視点検、マンホール目視点検および管路カメラ調査を実施との答弁であったが、その調査結果は。

A 上下水道部長

空洞が疑わしい13カ所が特定された。

Q 修繕工事の内容は。

A 上下水道部長

2カ所については、空洞が最も大きいと判明したことから、道路を掘削して空洞を充填する修繕を行った。

残る11カ所においても、破損箇所を特定した上で補修を終えた。

Q 令和7年9月議会で雨水ポンプ等の再整備が急務との答弁であったが、その後の計画は。

A 上下水道部長

新たな下水道本管が通るルートや口径などの整備計画案が示されるため、これを基に新たな雨水ポンプ施設の更新計画を検討する。

Q 雨水ポンプを設置している建屋は築何年か。

A 上下水道部長

昭和38年度に完成している。

Q 雨水貯留施設の設置という方法もあるが、見解は。

A 上下水道部長

現在、都市整備課にて進めている雨水管理総合計画において、市域全体での雨水排除の方法を多角的に検討していく中で、雨水貯留施設の必要性や有効性を検討していきたい。

その他の質問

・教育施策に関する件



市民・維新・
政治参加クラブ
浦上 文顕

学校行事に関する件

Q 最近の市内小・中学校の修学旅行の行き先は。

A 教育委員会事務局長

小学校は奈良・京都方面で、奈良公園や東大寺、金閣寺、清水寺など、中学校は関東方面で、国会議事堂や伝統工芸体験など歴史学習や文化体験を主眼とした旅行先を検討している。

Q 修学旅行に地理・歴史学習や主権者教育などの要素を取り入れているか。

A 教育委員会事務局長

訪問先の歴史、地理、文化について事前に学習を行い、現地では歴史的建造物、国会の見学などで体験を通じた学習を実施している。

Q 修学旅行の計画にあたり、政治的中立性に留意しながら、適切に計画しているか。

A 教育委員会事務局長

教育基本法第14条第2項に基づく政治的中立の原則を踏まえ、訪問先は、特定の政治的立場や思想を推奨する施設や活動を目的としないようにしている。また、事前学習などを通じて、多角的視点から歴史、文化、社会を学ぶ機会として、学校、保護者、旅行業者など

と連携し、適切に計画している。

Q 小・中学校における修学旅行の意義について、教育長の見解は。

A 教育長

首都や古都で文化財などに出会い、本物を見たり、聞いたり、体験したりする中で深い学びができると思う。修学旅行を通して家族からの自立の意識が芽生え、友達との仲間意識が強く育まれることを期待している。

その他の質問

・定住促進の件



公明党つしま
那須 幸子

福祉施策に関する件

Q 市役所本庁舎をはじめ、商業施設など多くの駐車場には、車椅子マークのついた駐車スペースが設けられている。こうした駐車スペースを本当に必要とする方が安心して利用できるよう、県でも、令和8年6月からパーキング・パーミット制度が開始されたが、この制度の概要は。

A 福祉部長

公共施設や商業施設の障がい者等の専用駐車区画を

利用できる利用証を交付することで、利用対象者を明確にし、当該駐車区画の適正利用を図ることが目的。利用対象者は、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、難病患者、要介護認定を受けている方、妊産婦、けが人など歩行が困難と認められる方。利用希望者は、愛知県パーキング・パーミット制度事務局宛てに郵送、または電子申請により交付申請して、県から利用証の交付を受ける。

公共施設や商業施設等の施設管理者は、対象駐車区画を県に届け出ることにより協力施設として登録され、県ウェブページに掲載される。

同様の制度を実施する他自治体の対象駐車区画でも、

県で交付した利用証を掲示して駐車できる。

Q 対象者だけでなく、対象ではない方にも制度の理解が重要である。制度が広く共有されてこそ適正な利用が進み、必要とする方が安心して利用できる環境が整うものと考えている。広報紙など多様な手段を活用した周知が必要であると考えているが見解は。

A 福祉部長

県の制度開始に当たり、市公式ホームページに掲載し、福祉課窓口でポスター掲示とチラシ設置を行っている。今後も広報紙や市公式インスタグラムへの掲載等により周知していく。



新市民クラブ
安井 英和

天王通りの活性化策に関する件

Q 本町筋の景観保全について、景観計画策定の進捗と今後の予定は。

A まちづくり推進部長

令和5年度に景観計画の策定に着手し、8年度7月に景観計画案の説明会を開催する。その後、パブリックコメントを経て、完成した景観計画は、第4回市議会定例会にて景観条例案として上程し、9年度からの施行を目指す。

Q 天王通りの無電柱化について、県との協議状況は。

A まちづくり推進部長

県における第9期無電柱化推進計画への位置づけに向け、事業主体である県に対し、市長と地元選出の県議会議員で毎年要望活動を実施している。今後、天王通りが計画に位置づけられたら、県と市で連携して設計を進め、円滑な無電柱化事業の推進に取り組んでいく。

Q 天王通りの活性化に関する総合的な取り組みについて、市長の見解、意気込みは。

A 市長

今後もまちづくりを止め

ることなく、天王川公園、津島神社、つしまクロス、津島駅など各拠点をつなぐ天王通りの無電柱化、天王通りや本町筋周辺の景観づくりを進め、各拠点のにぎわいを点から線へ、線から面へと広げていく。それによって、津島駅周辺の正面玄関にふさわしい、歩いて楽しめるエリアとしてまちづくりを進めていく。

その他の質問

- ・天王通りの現状について
- ・訪日外国人観光客誘致の強化について
- ・回遊性向上に向けた取り組みについて
- ・通年型の観光コンテンツづくりについて



市民・維新・
政治参加クラブ
野口 航希

子育て支援の件

Q 子育て支援トータルプランの主な事業内容は。

A 総合政策部長

18歳まで子ども医療費完全無料化、第2子以降の保育料完全無料化、小・中学校の給食費の完全無料化及び3歳から5歳児までの保育所、幼稚園、認定こども園等の副食費無償化、0歳児を対象にした子育て用品を無料で自宅にお届けする子育てサポート選べる無料定期便、保育所、認定こども園等に

おける紙おむつの保護者持ち帰り廃止の5つである。

Q 子育て世帯の中心となる20歳から49歳までの転入転出の状況は。

A 総合政策部長

子育て支援トータルプランが開始された以後の3年間の転出超過は11人となっている。開始前に比べて、約16分の1と大きく改善している。

Q 当市を選んだ理由や子育て支援施策が定住判断に与えた影響を把握するために、転入理由のアンケートを実施しているか。

A 総合政策部長

転入理由のアンケートについては、第5次津島市総合計画中間見直しに関する市民意識調査において実施している。

Q 今後どのように子育て世帯を含む若い世帯の転出抑制、転入促進を進めていくのか。

A 市長

LINEでの情報発信、インスタグラムやYouTubeで市の魅力や情報をコンパクトにまとめたショート動画の発信、子育て支援など効果的なコンテンツを発信し、魅力あるまちの見える化を進めていく。市の価値をさらに高められるよう魅力を高めていく。



新市民クラブ
中川 喜文

一宮西港道路に関する件

Q 昨年、3ルート案の中から、中央ルートに決定されたが、市内を通過するルート計画には、市内にインターチェンジなどが整備される予定は。

A まちづくり推進部長

現在公表されているインターチェンジの検討位置は、あま愛西線上付近の日光川と目比川に挟まれた辺りと、市内の元寺町付近の津島蟹江線が検討位置と示されている。

Q 名古屋津島線と交差する付近へのサービスエリア設置についても、今後、国や県に対しての要望を検討してほしい。

また、市においては、インターチェンジやサービスエリアの整備効果を最大限に生かせるよう、企業誘致や土地利用計画、防災対策などについても、一体的に検討してほしい。

今後、一宮西港道路が通過することでどのようなまちづくりを進めるのか、市長の見解は。

A 市長

一宮西港道路が完成した際には、企業立地や雇用の促進、広域交通のアクセス向上、さらには災害発生時

における防災拠点へのアクセス向上に大きく寄与するものと考えている。

また、市内にサービスエリアなどが設置されれば、東公園や市民の森などを活用しながら、一体的にまちづくりを進めることができる。

国や県、また地元国会議員への要望活動を力強く実施し、早期実現を目指す。

その他の質問

- ・ 公共施設内での労組加入に関する調査及び是正を求める陳情について
- ・ 政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情について



太田 幸江

物価高騰対策について

Q 令和5年度津島市プレミアム付商品券事業にかかった経費は。

A まちづくり推進部長

主な経費としては、委託料が2,790万円、プレミアム分の交付金が8,973万6,000円で、合計1億1,763万6,000円であった。

Q 商品券取扱店舗は幾つあったのか、また商品券の使用が多かった店舗の上位5位までの利用率、そして上

位10位までの利用率はどのぐらいか。

A まちづくり推進部長

商品券取扱店舗数は433店舗で、商品券の使用が多かった店舗の利用率は上位5位までで20.4%、上位10位までで32.1%であった。

Q 商品券事業の事務経費は、約3,000万円であった。私どもは物価高騰対策として水道基本料金の免除を提案してきた。

水道料金の基本料金を全世帯免除した場合、1カ月当たり減収額は幾らか。

A 上下水道部長

全体で1カ月当たり約4,000万円の減収となる。

Q 基本料金を免除する場合、事務経費、事務負担額は幾らになるのか。

A 上下水道部長

事務経費として主なものは、水道料金計算システム改修費で約200万円となる。

その他の質問

- ・ 低所得世帯のエアコン購入費等への補助について
- ・ 子どもの熱中症対策について
- ・ 自衛官募集に係る情報提供について
- ・ 広島平和記念式典への中学生派遣について



長屋 大和

中日ドラゴンズの誘致について

Q 税金がいくら使われるのか、用地の取得費や造成費、道路整備費、上下水道整備費など、具体的にどの程度、市が負担するのか。

A まちづくり推進部長

市の負担は、球団が示す公募条件を基に、今後算出する。

Q 年間どの程度の来客者数を見込んでいるのか。

A まちづくり推進部長

中日ドラゴンズ2軍公式戦、令和7年の観客総動員数は10万307人との発表で、1試合あたり約1,700人程度、新球場は同程度の来場があると考える。

Q 球場施設は毎日試合がなく、試合日のみ人が集まり、それ以外は閑散とする施設であれば、投資効果は限定的になる。試合日以外の活用をどのように考えているのか。

A まちづくり推進部長

野球振興だけでなく、地域の共有資産として施設運営をする意向が示されている。今後、球団と協議を重ね、年間を通じた活用を検討していく。

討していく。

Q 周辺住民の生活への影響ですが、1試合約1,700人程度の来場者が想定され、交通対策は避けて通れない。試合開催時の交通渋滞などはどう考えているのか。

A まちづくり推進部長

対策は、公共交通機関の利用促進、必要な駐車場の確保に加え、周辺幹線道路を管理する県に対し渋滞緩和対策について働きかけをしていく。

また、球団とも協議を重ね、周辺住民の負担が軽減できるよう対策を検討していく。



新市民クラブ
浅井 英昭

まちづくりに関する件

Q これまでの永和駅周辺の検討状況は。

A まちづくり推進部長

令和3年12月に改定した津島市都市計画マスタープランでは、永和駅北側は南の玄関として位置づけ、幹線道路やインターチェンジ、永和駅などの広域交通の利便性を生かした工業・物流拠点の形成を目指している。

Q 現在進めている永和駅周辺の事業として、県による

日光川右岸堤防災害道路と佐屋踏み切りの渋滞対策が挙げられるが、進捗状況は。

A まちづくり推進部長

JR関西本線の南側と東名阪自動車道から日光橋までの区間の合計約6.7kmが完成しており、現在はJR関西本線区間の早期開通に向けて、引き続き検討が進められている。

また、現在の永和駅西側にある佐屋踏み切りの交通渋滞対策については、この防災道路等が整備されることにより軽減が図られると伺っている。

Q 市民生活の利便性の向上のためには、永和駅の北側改札口が必要であり、また

市民も切望している。

永和駅の北口設置に向けた今後の見通しは。

A まちづくり推進部長

南の玄関構想の実現には、永和駅の北口からのアクセスが必要不可欠であると認識している。

整備には、愛西市や蟹江町、県の協力が必要となるので、今後も継続的に協議を行い、永和駅周辺の市町と協力してまちづくりを検討していく。その中で、永和駅の管理者であるJRとも協議し、永和駅の北口設置についても検討していきたい。

その他の質問

・庁内DXに関する件



新市民クラブ
伊藤 久夫

施政方針に関する件（防災・減災モデル都市、つしま）

Q 災害時の助け合い体制づくりのため、日光川の東西地域の交流を促進すべきと考えるが、市の見解は。

A 総合政策部長

災害が起きたときに広域共助を実効性のあるものにするためには、平時から顔の見える関係を築いておくことは必要不可欠である。まつりを始めとする平時の地域活動での交流、連携、協力体制の構築にもつながり、市がその関係づくりの

橋渡し役となって、支援していくことが必要である。

Q 共助を公共政策としてどう位置付け、支援、促進していくか。

A 市長

共助を支援、促進することは、公助の責務であると考えている。

大規模災害時には共助の担い手も被災することが想定されるなど、地域で支えあう共助には限界がある。

この厳しい現実を行政が受け止めることが真の共助支援の第一歩である。

その上で「共助の支援・促進」とは、地域の方が「これなら自分たちでもできる」と思えるような、持

続可能な環境づくりを行政が作り上げることである。

Q 地区防災計画作成支援補助金の内容は。

A 総合政策部長

地区防災計画を作成する自主防災組織に対し、講師謝礼や先進地視察用の旅費、地域の周知に係る印刷経費等の計画作成に要する経費の一部を補助する。補助上限額は1団体当たり30万円を予定している。

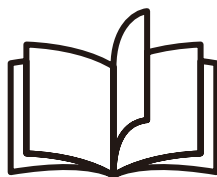
その他の質問

・津島市定住促進事業補助金に関する件

市議会をのぞいてみよう

議会だよりを読む

議会だよりは、議会活動について広く皆さまにお知らせするため、定例会や臨時会の内容を中心に掲載しています。発行は5月、8月、11月、2月の年4回です。



過去の議会だよりはこちら→

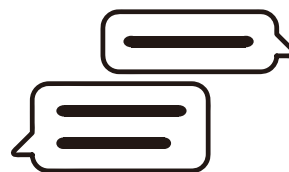
津島市議会だより



検索

会議録を読む

本会議の会議録は、インターネットで公開しています。また、発言者やキーワードを指定して、検索することもできます（公開は、議会終了から約2カ月後です）。スマートフォン・タブレットでもご覧いただけます。



津島市議会 会議録



検索

もっと市議会を知りたい方は、こちらをチェック



・・・ 議案等について、2つの委員会に分かれて **審査** しました ・・・

厚生文教委員会

議案第34号 一般会計補正予算（第1号）

Q 生活保護扶助費追加給付分として2,702万3,000円増額されている。現在受給している世帯へは自動的に不足分が支給されるが、廃止世帯は申請しなければならない。
丁寧な周知が必要であると思うがいかがか。

A 市のホームページと広報紙への掲載を予定している。国でも報道発表や相談窓口の開設等をしている。

Q 児童福祉費、こども家庭センター事業として92万円増額されているが、その積算根拠は。

A 報償費2万円は講師謝礼1万円掛ける2時間分と子育て世帯訪問支援事業委託料は1時間当たりの委託単価を3,000円とし、60時間掛ける対象世帯数5世帯で積算している。

Q 対象世帯5世帯はどのような方が利用対象か。

A 支援の必要性が高い妊産婦、こどものいる世帯のうち、家事、育児支援が必要と認められる世帯が対象である。

Q 地域医療対策事業として1億4,784万5,000円の増

額は、津島地区医療センター改修工事費等とのことであるが、休日急病診療所の過去3年間の利用者数は。

A 令和5年度2,317人、6年度1,560人、7年度1,618人である。

Q 感震ブレーカー設置費補助金として30万円増額されているが、積算根拠は。

A 1世帯3,000円で100世帯を目標に30万円計上している。

議案第36号 財産の買入れ

議案の概要 水槽付消防ポンプ自動車の買入れについて、議会の議決を求めるもの。

Q なぜ株式会社モリタが買入先に決まったのか。

A 公正な入札手続の中、最低金額で入札をした業者である。西日本・東海地域においてナンバーワンのシェアを誇り、これらの地域の消防本部で納入の実績が豊富な業者である。

Q 指名競争入札5社の中で、株式会社モリタの約5,500万円は妥当なのか。

A 近年の資機材価格や製造コストの上昇で全国的に値段は上がっているので、今回の金額については妥当である。

総務建設委員会

議案第34号 一般会計補正予算（第1号）

Q 斎場・墓地管理運営事業として1,309万円増額され、斎場の火葬炉設備の補修工事にかかる工事請負費とのことであるが、毎年費用をかけて設備を補修するものなのか。

A 火葬炉は内壁のブロック等が高熱により劣化していくため、保守点検の結果で寿命を見ながら更新している。今後も毎年1,000万円程度を5年間、補修していく計画である。

Q 雨水管理総合計画策定委託料として4,700万円増額されているが、浸水対策として有効な対策が立てられ、効果を期待してよいのか。

A 本計画は浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的事項を定めるもの。現在、土地改良区が設置した排水機場が担っている排水について、大雨による浸水被害を軽減する計画を進めていく。

行政調査視察を受け入れました

令和8年5月18日(月)に、三重県伊賀市議会の総務常任委員会が、行政調査視察で津島市を訪れました。

津島市からは議長が出席し、あいさつの後、総務デジタル課、議事課が「ハラスメント防止条例の制定」について説明しました。



令和8年 第3回定例会 開催予定

日	月	火	水	木	金	土
8/23	24	25	26	27	28	29
	本会議					
30	31	9/1	2	3	4	5
		一般質問	一般質問	一般質問	厚生文教委員会	
6	7	8	9	10	11	12
	総務建設委員会	厚生文教委員会	総務建設委員会	委員会予備日		
13	14	15	16	17	18	19
			予算・決算特別委員会		本会議	

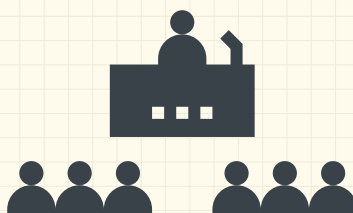
■会議は午前9時から開催します。

日程は変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

☎55-9858

請願・陳情について

令和8年第3回定例会への請願・陳情の提出締切日は、令和8年8月13日(木)午後5時15分です。



編集 後記

一編集委員会一

委員長：清水基史
長屋大和

副委員長：安井英和
那須幸子 野口航希

議会だよりをご覧いただきありがとうございます。

この度、編集委員会が新しいメンバーとなりました。

議会だよりは、市民の皆様と議会をつなぐ架け橋となります。

議会で話し合われた内容や議員がまちの課題を質問した内容等を分かりやすく、まとめてお届けしたいと考えています。

これからもメンバーと共に伝わる議会だよりを目指して、アップデートしてまいります。

今後ともご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

議会だよりは、5月・8月・11月・2月に発行しています。